

TESOL

母語が英語ではない人による英語教授法



このコースは母国語が英語ではない人が英語を使って英語を教える資格のための英語専門教師養成コースである。

このプログラムの目標は、学生とより良い関係を築き、授業のマネジメントをより効果的に行うために実際の教育のフィールドにおいてふさわしいTESOLの方法論を導き出すことである。

このコースを受講する生徒が母国語を使って母国語ではない言語を教えるために必要な、多くの学問領域にわたる教育テクニックの能力の開発に焦点を当てている。

週	月曜日 授業のマネジメント	火曜日 スキル	水曜日 言語分析	木曜日 言語教授	金曜日 ピアティーチング
1	自分自身の活動を知る 授業のマネジメントとは	リーディングの 模擬授業	一般英語[リスニング] (事前に指導する語彙も 準備)	一般英語 文法の模擬授業	ピアティーチング 受容的スキル (中級レベルのコー スブック 「New Cutting Edge」の読解) の評価
	DVDの鑑賞 授業のマネジメント 方法を中心的に	受容的スキルの 授業分析 (リーディング)	言語とは？ 内容とMPF (Meaning, Pronunciation, Form)	模擬授業の分析	
	DVDのフィードバック と効果的なタスクの 設定1	リーディングに おける副次的能力と タスクの種類	文法の ワークショップの分析	概念の確認の質問の 書き方 (CCQs)	
	タスク設定のためのワ ークショップと 用語のレビュー	リーディングスキル のワークショップ、 実際の「もの」を使 って説明		意味を確認する 他の方法とCCQの ワークショップ	
2	自分の活動を知る	リスニングの 模擬授業	一般英語、[語彙] [動詞と名詞の 組み合わせ]	一般英語のデモ授業[生徒が本当に理解 しているかのテスト を行い、指導する]	ピアティーチング (中級レベルの コースブック 「New Cutting Edge」を使用し た語彙について) の評価
	効果的なタスクの 設定2	受容的スキルの 授業分析 (リスニング)	語彙: 内容& MPF	診断テスト、不正解 箇所の説明、本当に 理解したかのテスト の進め方	
	生徒に積極的に話を させる方法とワークシ ョップの実践	リスニングにおける 副次的能力とタスク の種類	語彙ワークショップの 分析	語彙を引き出し 説明する方法	
	生徒を授業に積極的に 参加させる方法	リスニングスキルの ワークショップ、 実際の「もの」を使 って説明	ワークショップの間の生 徒の反応をみて、生徒が もっと授業に参加する 方法を考える、または 一般英語のグループ作業	語彙のためのMPFを 引き出す方法と ピアプラクティス (生徒同士での練習)	
3	自分のタスクを知る	ライティングの 模擬授業	一般英語 [言語機能]	一般英語 [テキストからの 文法]	ピアティーチング (テキストベース の言語の授業)の 評価
	一般英語 [リスニング]	生産的スキルの 授業分析 (ライティング)	音韻 [音素チャート]	テキストベースの 言語文法授業分析	
	相互作用表現	ライティングの 副次的能力、 ライティングの 間違いのチェック、 タスクの種類を知る	音韻学 [緊張音、イントネー ションと連続発音]	言語をより正確に 教えるための練習	
	タスクの設定	実用的な言語と計画 とピアティーチング のワークショップ	音韻のワークショップ 説明とイントネーション	補足資料から 強調箇所を学ぶ	
4	自分のタスクを知る 一般英語 [緊張音と質問形式]	スピーキングの 模擬授業	一般英語 [言語機能の模擬授業]	一般英語 [CCQsと誤りの訂正 に焦点を当てた過去 の形式]	ピアティーチング の(スピーキング) の評価
	タスクの設定、記録、 フィードバック	生産的スキルの 授業分析 (スピーキング)	言語機能の紹介	言語教授のDVDの 鑑賞	
	より多くの記録とフィ ードバック	スピーキングの 授業の種類	言語機能のためのMPF の分析 (Meaning, Pronunciation, Form)	意味の確認に焦点を 当てる	
	ワークショップ・設定	実地的な表現を学ぶ	センテンスベースの例を	全ての分野での	

TESOL

母語が英語ではない人による英語教授法

専門用語集

これらは、これからこのコースで出くわすであろういくつかの主要なコンセプトの要約である。

- ❖ **正確さ / 流暢性:** 流暢に話すことに焦点を当てることよりも、言語を正確に理解することの方が実用性があることもあり、その逆の場合もある。
- ❖ **目標:** 受講生が授業の間で達成することを望むもの
- ❖ **明確化:** 授業内で語彙に関して、意味、発音、言語形成の観点から学生により明確に理解をさせる
- ❖ **概念問題(Concept Questions: CCQs):** 言語項目の意味に焦点を当てた質問
- ❖ **文脈:** 言語項目は独立して存在しない。文脈はテキスト、クラス内での会話等で見つけられる。用語の意味や使い方を明確にするために、また、典型的に使用される方法を指導するために、その用語を用いた文脈の例を作り、学生により分かりやすく理解させる。
- ❖ **演習:** しっかりと対策された口頭練習(発音、イントネーション等)を行う。生徒は教師の後に言葉を繰り返す。個別に練習をする前に教師は手本を最初に見せる。
- ❖ **復唱:** 生徒が言ったことを復唱する。これは目的のある「認識」の復唱(間違いがあることを分からせるため)、または、「無意識の」復唱(自分の言ったことを理解させるため)の2種類に分類される。
- ❖ **誘発:** 生徒に授業にもっと関わってもらうためのテクニック。これは、説明することによって生徒に知識を与えることよりも、生徒が発言することを誘導することによって言語を引き出すことである。
- ❖ **流暢性:** 100%正確な英語を話しているかという過剰な心配をせずに自然に話す。
- ❖ **語学を学ぶ授業:** 主な目的が文法、語彙、または言語機能である授業。
- ❖ **語彙形式:** 語彙、用語について指導する。

TESOL

母語が英語ではない人による英語教授法

- ❖ **音韻論:** 音素、イントネーション、単語のアクセント、文章のアクセント、リズム、連続発音を学ぶ
- ❖ **演習:** 生徒に学習したことを使う機会を与える。
- ❖ **関係性:** 授業内での生徒との関係の質を高める。
- ❖ **ロールプレイング:** 生徒はスピーキングの練習をするためにキャラクターを演じたり、与えられた情報やアイデアを使う。
- ❖ **スキヤニング:** 特定の情報の項目を見つける事を目的としたリーディング。
- ❖ **スキル:** 講師はリスニング・リーディング(受容的スキル)、ライティング・スピーキング(生産的スキル)、の4つのスキルについて指導する。
- ❖ **スキミング:** テキストの一般的な意味や要点を理解する目的で、素早く読み上げるリーディングの方法。
- ❖ **段階:** 授業は通常順序立てられて1つの授業として構成される。この順序をつなげると、完璧な授業を作ることに役立つ。
- ❖ **STT(Student Talking Time, 生徒が会話をする時間):** 授業中に生徒が話す時間を多く設ける。
- ❖ **学生中心の活動:** 教師が中心とならない活動。学生にペアかグループで作業をさせることができる。この機会を最大限に活用することは生徒が積極的に話す事ができる良いアイデアである。
- ❖ **教師主導の活動:** 教師がクラス全体をリードしている活動。教師主導の量を最小限に抑えることは良いアイデアである。
- ❖ **TTT (Teacher Talking Time, 教師が話す時間):** 授業中に教師(受講生)が話す時間。



ACE

客室乗務員を目指す人のための英語



航空会社の客室乗務員になるための最も重要なステップは、面接の準備がしっかりと整っていることである。ACEコースは、エアラインの面接で成功するためのコツを教え、受講生が英語に対しての自信を持つことができるように構成されている。ほとんどの航空会社において個人面接、エッセイ、ライティング、グループディスカッションは面接形式が同じである。その為、全ての分野の質問とインタビュー形式を練習することで、面接に自信を持つことができる。

ACEプログラムのカリキュラムは、国内、国内外の航空会社の面接において予想される質問はもちろん、予想外の質問まで幅広く取り扱う。ACEコースでは大手航空会社の全ての一次面接で「最もよく尋ねられる質問」のような実用的な情報を提供する。カリキュラムは英語での面接、エッセイライティング、グループディスカッションに対して苦手意識を持つ人の為に設計されている。CELLAはより良いプログラムを提供するために全力を尽くす。

ACE

客室乗務員を目指す人のための英語

ACEコースカリキュラム

クラスは主に1:1の形式で行われ、生徒は文構造、表現、単語、アクセント、文法などを学習する。さらに、学生は航空会社ごとに資料を与えられ、客室乗務員として活躍する将来のために、より集中的で個人的なカリキュラムを提供する。

【開始日】 毎週月曜日

【期間】 4 / 8 / 12 週間

【レベル】 Pre-Intermediate以上

CELLA ACEプログラムは客室乗務員を目指す人のために、一番良い英語面接のカリキュラムを提供します。



機内アナウンス

記事の読解

面接の質問

意見の要約

ACE

客室乗務員を目指す人のための英語

コース概要

優れた英語コミュニケーション能力を備えた、世界で通用する客室乗務員を育成する集中コース。

- マンツーマン: 4時間
- グループ: 4時間 (2時間はACE, 2時間はESL)
- 開始日: 毎週月曜日
- 受講資格: Pre-intermediate以上かTOEIC 600点以上

コースの目的

【1対1の面接対策のクラス】

受講生が得られるもの

- 質問に対し自信を持って答える。
- 簡潔な答えを与える練習を行う。
- 正しい構文、言葉遣い、発音、抑揚などを知る。
- インタビュー(面接を受ける側)として顕著な印象を与える。

【1対1のエッセイクラス】

受講生が得られるもの

- ライティングを通じて答えを的確に表現する。
- 文法的に正しい文章を書く。
- アイデアの統一と一貫性を目指す。
- 文章と段落の間の移り変わりをスムーズにする。
- 正しい句読点を使用する。
- 限られた時間でエッセイを書く。

【ディスカッション・模擬面接クラス】

受講生が得られるもの

- 面接の過程にうまく適応する。
- 自分自身について個人的かつ専門的な見解を共有する。
- グループ間でのチームワーク力を成長させる。
- 常に優れたアイデアを考え、面接でしっかりと答える。
- 特に企業環境で効果的な策略を徹底的に観察・吸収する。
- 自信を強化する。(特に複雑な質問に答えることができるように)
- 追い詰められた状況下でもしっかりと振る舞える力を身につける。

ACE

客室乗務員を目指す人のための英語

【試験】 毎週金曜日

- -模擬エッセイライティング (採点/スコア形式)
- -1対1の模擬面接(振り返り/スコア形式)
- -パネル面接のための模擬面接 (振り返り/スコア形式)

月末の金曜日(試験日)

【内容】

- エッセイライティング(20分)
- 機内アナウンス
- 記事のリーディング
- パネル面接の質問

注) ACEコースの学生は適切なドレスコードと身だしなみを要求されます。

-実際のビジネスの現場のようなオフィススタイルであること。

-きちんと整った身だしなみ、髪の毛、メイク、靴が条件。

【その他の活動】

- ビデオプレゼンテーション
- ビデオとボイスレコーディング
- 発音の向上
- グループディスカッション・チームワーク
- 深くまで踏み込んだ面接の質問
- 機内シナリオ

【学習の概要】

- ジェスチャー
- 態度・姿勢
- ライティングスキル
- コミュニケーションスキル
- 親密な関係の確立方法
- 対人関係スキルの練習
- 面接官の印象に残る印象を残す。

【推奨する学業期間】 8-12週間

